

第4節 熊本県の特質と過去の主な地震災害

1. 地 勢

熊本県は、地理的には九州の中央に位置し、北、東および南の三方は山岳に囲まれており、特に宮崎県との県境には九州の脊梁をなす九州山脈が走り、最高峰の国見岳(1,739m) 市房山(1,722m)を主峰に十数座の山岳が連なっている。

中央部は、菊池川、白川、緑川流域に熊本平野が開け、球磨川、氷川その他の中小河川の流域にひらける八代平野とともに平坦地を形成している。複式火山として世界的に有名な阿蘇山は、県の東北部に位置し、陥没によってできた南北約 25km、東西約 17km の巨大なカルデラの内部に、いわゆる阿蘇五岳がある。その噴出物は広域に広がり、北は福岡県の安徳台付近に、南東は宮崎県日向灘の海岸にいたり、南は人吉付近に、南西は天草の下島にまで及び、噴出物の分布面積は 6,817 k m²で九州の面積の5分の1に達するといわれる。県の北部には、八方ヶ岳(1,052m)があり、また福岡、大分および本県との三県境には国見山(1,018m)がそびえ、県南部は、一帯に急峻かつ、広大な山地からなり、九州山脈に連なる山岳が相重なっている。熊本平野の西方には宇土半島が突き出て、有明海と不知火海とに分け、宇土半島の南西には、大小120余の島からなる天草諸島が散在している。

2. 社会的条件とその変化

地震災害は、地形、地質、地盤等の自然的条件に起因するものと、人口の集中度や建築物の状況等の社会的条件に起因するものとが同時複合的に発生することが特徴である。

被害を拡大する社会的災害要因として、主に次のような点が考えられる。

(1) 人口の集中度

本県の人口は、平成14年度現在1,858,070人でこのうち668,446人(約35%)が熊本市に集中しており、熊本市を含む11市では1,101,872人(約59%)が集中している。

また、都市部の人口は年々増加し国際化が進み、逆に山間部の人口は減少しており、過疎化・高齢化が進んでおり、高齢者や外国人等の災害弱者が増加している。

さらに、消防団については、都市部及びその近郊町村ではサラリーマン団員の増加、過疎部では団員の確保・高齢化の問題のある市町村も見られる。

(2) 土地利用の変化

市街地中心部でのビルの高層化が進み、また大規模開発等による住宅団地の形成や大型小売店や娯楽施設等の不特定多数の人が集まる施設の建築が増加している。逆に、以前からの住宅密集地は再開発があまり進んでいない。

これらは、地震災害時における被災人口の増大、火災の多発、延焼地域の拡大の危険性を高めている。

(3) 生活様式の変化

近年の生活様式の変化によって、電気、ガス、水道、下水道、電話等のライフライン施設は県民生活に欠かせないものとなっており、今後、益々その依存度・重要性が高くなると考えられる。

これらの施設の被害は、その復旧に時間を要し県民生活に大きな支障をもたらす、都市機能をマヒさせるばかりでなく、2次災害の危険性もある。

(4) 工業化の進展

高度経済成長により急速に工業化が進展したが、工業化とともに多量の危険物を貯蔵する施設が増加し、地域における被害拡大の危険性を高めている。

(5) 交通機関の発達

自動車は急速に増加してきているが、自動車はそれ自体ガソリン等の危険物を内蔵しており、出火・延焼の原因となるとともに、大量の自動車によって引き起こされる交通混乱が消火・救助活動等の災害応急活動の妨げとなり被害を拡大させることが予想される。

また、道路・鉄道・港湾施設等の被害による交通機能のマヒは、物流に重大な影響を及ぼし、県民生活に大きな支障をもたらすことも予想される。

(6) コミュニティ意識の低下

近年の都市化及び核家族化の進展で、特に都市部において地域のコミュニティ活動が停滞ぎみで、県民の防災意識の高まりも鈍く、地震災害発生直後の被害拡大を防ぐ有効な手段であるコミュニティレベルでの防災活動もあまり活発でなく、自主防災組織率も全国に比べて非常に低い状態にある。

このような社会的災害要因によって、地震による被害が拡大されるだけでなく、被害も多様化し同時複合的に発生するものと考えられるが、現状ではこれらの災害要因への対応・対策は決して十分なものではない。

したがって、このような社会的災害要因の変化に最大限の努力を払うと同時に、基礎的・科学的な調査や公共施設等の整備、企業も含めた防災意識の普及啓発を不断に続けていくことが必要である。

3 . 熊本県の過去の主な地震とその被害

県下に大きな被害をもたらした地震としては、明治 22 年(1889 年)7 月熊本付近を震源とした地震(死者 20 人、負傷者 52 人、家屋の全壊 228 戸)等が記録されている。

県内に被害をもたらした主な地震(県内の最大震度 4 以上)は、次のとおりである。

1619 年 5 月 1 日 (元和 5.3.17)肥後八代 N 32.5° E 130.6° M : 6.0

麦島城をはじめ公私の家屋が破壊した。

1625 年 7 月 21 日(寛永 2.6.17)熊本 N 32.8° E 130.6° M : 5~6

地震のため熊本城の火薬庫爆発、天守付近の石壁の一部が崩れた。城中の石垣にも被害、死者約 50。

1723 年 12 月 19 日(享保 8.11.22)肥後・豊後・筑後 N 32.9° E 130.6° M : 6.5

肥後で倒家 980、死者 2。飽田・山本・山鹿・玉名・菊池・合志各郡で強く、柳川辺でも強く感じた。

1769 年 8 月 29 日(明和 6.7.28)日向・豊後・肥後 N 33.0° E 132.1° M : 7 3/4

延岡城・大分城で被害多く、寺社・町屋の破損が多かった。熊本領内でも被害が多く、宇和島で強く感じた。津波があった。

1792 年 5 月 21 日(寛政 4.4.1)雲仙岳 N 32.8° E 130.3° M : 6.4

前年 10 月 8 日から始まった地震が 11 月 10 日頃から強くなり、4 月 1 日に大地震 2 回、前山(眉山：天狗山)の東部がくずれ、崩土約 0.34km³ が島原海に入り津波を生じた。対岸の肥後でも被害が多く、津波による死者は全体で約 15,000、潰家 12,000。「島原大変肥後迷惑」と呼ばれた。

1828 年 5 月 26 日(文政 11.4.13)長崎 N 32.6° E 129.9° (M : 6)

出島の周壁が数カ所潰裂。天草で激しかったという。天草の海中で噴火に似た現象があったという。

1889 年 7 月 28 日 23 時 45 分(明治 22)熊本付近 N 32.8° E 130.7° H : 極浅 M : 6.3

飽田郡を中心に熊本県下で被害大。死者 20・負傷 52、家屋全壊 228・半潰 138、地裂 880、堤防崩壊 45、橋梁壊落 22・破損 37、道路損壊 133。柳河地方でも潰家 60 余。

肥後・筑後地方で強震

1894 年 8 月 8 日 23 時 19 分(明治 27)熊本県北部 N 32.8° E 131.0° H : 極浅 M : 6.3

阿蘇郡永水村で家屋土蔵破損 15、石垣の崩壊が多かった。長陽村で家屋破損 1、石垣崩壊 9。

1895 年 8 月 27 日 22 時 42 分(明治 28)熊本県北東部 N 32.8° E 131.0° H : 極浅 M : 6.3

阿蘇郡山西村で土蔵破損 400、堤防亀裂 8、石垣崩壊 22、石碑・石灯笼の転倒多し。永水村で家屋破損 5。その他の諸村で小被害。肥後・筑後地方で強震。

1906 年 3 月 17 日 21 時 20 分(明治 39)熊本付近 N 32.8° E 130.8°

熊本市内で陶器店・ガラス店にて多少の被害。最大震度 : 熊本

- 1907年3月10日22時03分(明治40)熊本付近 N 32.9° E 130.7° H : 極浅 M : 5.4
煉瓦煙突破壊1、家・倉庫壁の亀裂3などの軽被害。最大震度 : 熊本
- 1909年11月10日15時13分(明治42)宮崎・熊本県境 N 32.3° E 131.1° H : 約150km
M : 7.6 震域広く日向・土佐で潰家・死者あり。宮崎市で被害大。県内で負傷3。
最大震度 : 宮崎・大分・鹿児島・佐賀・岡山・徳島・広島など。震度 熊本。
- 1931年12月21日14時47分(昭和6)八代海 N 32.5° E 130.5° H : 10km M : 5.5
大矢野島群発地震。22日と26日にM : 5.6、5.9の地震(下記)。21日、22日の地震により八代町沿岸に多少の被害。26日の地震により八代郡田浦付近で壁の剥落50
~ 60、堤防亀裂、石垣崩壊等の被害。大矢野島の護岸・堤防決壊す。最大震度
: 牛深。
- 1931年12月22日22時08分(昭和6)八代海 N 32.6° E 130.6° H : 0km M : 5.6
被害は上記の地震と重複。最大震度 : 牛深
- 1931年12月26日10時43分(昭和6)八代海 N 32.6° E 130.6° H : 10km M : 5.9
被害は上記の地震と重複。最大震度 : 牛深
- 1937年1月27日16時04分(昭和12)熊本県中部 N 32.7° E 130.8° H : 30km M : 5.1
上益城郡秋津村で長さ10間(18m)幅3尺(0.9m)の石橋崩れ落つ。最大震度 : 牛
深
- 1941年11月19日01時46分(昭和16)日向灘 N 32.0° E 132.1° H : 0km M : 7.2
日向灘地震。大分・宮崎・熊本の三県で死者2・負傷18、家屋全壊27・半壊32
その他、石垣崩壊、煙突破損、道路破壊等あり。宇和島・宿毛でも軽微な被害。
九州の東岸・四国の西岸に津波襲来し、細島・青島・宿毛で波高約1m。船舶の転
覆流失あり。
干潮時のため津波による陸上の被害なし。余震多く、30までに有感23回・無感71
回
最大震度 : 宮崎・人吉・宿毛・延岡
- 1968年2月21日08時51分(昭和43)宮崎県南西部 N 32.0° E 130.7° H : 0km M : 5.7
えびの地震。2月10日頃から前震あり、この地震に引き続き21日10時45分(M
: 6.1)、22日19時19分(M : 5.6)にも地震があり、これらの地震で被害が発生し
た。多数の余震あり。
死者3・負傷42、家屋全壊368・半壊3,176、非住家被害1,494、道路被害73、橋梁
損壊9、堤防亀裂4、山(崖)崩れ44、鉄道被害6、通信施設被害100。最大震度 :
: 人吉
- 1968年2月21日10時45分(昭和43)宮崎県南西部 N 32.0° E 130.7° H : 0km M : 6.1
えびの地震の最大規模の地震。被害は上記の地震と重複。最大震度 : 人吉。
- 1968年2月22日19時19分(昭和43)宮崎県南西部 N 32.0° E 130.8° H : 0km M : 5.6
被害は上記の地震と重複。最大震度 : 人吉。
- 1968年3月25日01時21分(昭和43)宮崎県南西部 N 32.0° E 130.7° H : 10km M : 5.4
えびの地震の余震。死者3、住家全壊18・半壊147、非住家被害309、道路損壊6、
橋梁破損5、山(崖)崩れ11、通信施設被害97。最大震度 : 人吉。

- 1975年1月23日23時19分(昭和50)熊本県北東 N 33.0° E 131.1° H : 0km M : 6.1
阿蘇郡一の宮町手野地区に被害集中。負傷 10、道路損壊 12、山(崖)崩れ 15。最大震度 : 阿蘇山
- 1984年8月7日04時06分(昭和59)日向灘 N 32.4° E 132.2° H : 33km M : 7.1
宮崎・大分・熊本の各県で被害。負傷 9、建物一部破損 319 など。弱い津波があり、延岡で 18cm を記録。最大震度 : 宮崎・延岡・油津・大分・熊本・宇和島。
- 1987年3月18日12時36分(昭和62)日向灘 N 32.0° E 132.1° H : 48km M : 6.6
宮崎県で被害大。死者 1・負傷若干のほか、建物・道路などに被害があった。大分・熊本県でも被害あり。最大震度 : 熊本、阿蘇山、人吉。
〔熊本県の気象百年(熊本地方気象台)による〕
- 1997年3月26日17時31分(平成9)薩摩地方 N 31° 58.7' E 130° .21.6' H : 8km M : 6.3
水俣市を中心にシラス崩れ、壁の亀裂、窓ガラス割れ、落石等の被害発生。
最大震度 : 4 (熊本市京町、八代市、松橋町、人吉市、牛深市、芦北町、大矢野町)
- 1997年5月13日14時38分(平成9)薩摩地方 N 31° 56.9' E 130° .18.1' H : 8km M : 6.2
水俣市を中心にシラス崩れ、がけ崩れ、屋根瓦の落下、家屋のひび割れ等の被害発生。
最大震度 : 4 (八代市、松橋町、人吉市、芦北町、大矢野町)
- 1999年3月9日12時53分(平成11)阿蘇地方 N 32° 56.6' E 131° .00.8' H : 10km M : 4.5
西原村、長陽村等においてブロック塀の倒壊、屋根瓦の落下、落石等の被害発生。
最大震度 : 4 (旭志村)
- 2000年6月8日9時32分(平成12)熊本地方 N 32° 45.3' E 130° .45.3' H : 10km M : 4.8
益城町、嘉島町、御船町で屋根瓦多数落下、砥用町で落石被害発生。
最大震度 : 5 弱(富合町、 嘉島町)
- 2001年1月10日19時33分(平成13)阿蘇地方 N 32° 48.2' E 131° 07.7' H : 6km M : 3.9
高森町で落石、水道管破裂、屋根瓦の落下、窓ガラス破損等の被害発生。
最大震度 : 3 (産山村、 波野村、 蘇陽町、 白水村、 久木野村、 長陽村、 清和村) [高森町の文部科学省設置の地震計で震度 5 強を表示]

(注) は県の震度計

4. 本県の気象官署における震度別有感地震発生数

本県における震度別有感地震発生数は次のとおりである。

年	震度 官署	1	2	3	4	5	合計
1904年 明治37	熊本	13	0	1	0	0	14
1905年 明治38	熊本	40	2	0	1	0	43
1906年 明治39	熊本	58	0	1	2	0	61
1907年 明治40	熊本	107	0	3	1	0	111
1908年 明治41	熊本	13	1	0	0	0	14
1909年 明治42	熊本	13	1	0	1	0	15
1910年 明治43	熊本	5	0	0	0	0	5
1911年 明治44	熊本	5	1	1	0	0	7
1912年 明治45	熊本	12	0	0	0	0	12
1913年 大正2	熊本	5	0	1	1	0	7
1914年 大正3	熊本	7	1	0	0	0	8
1915年 大正4	熊本	10	0	0	0	0	10
1916年 大正5	熊本	12	4	0	0	0	16
1917年 大正6	熊本	2	0	0	0	0	2
1918年 大正7	熊本	8	0	0	0	0	8
1919年 大正8	熊本	12	0	0	0	0	12
1920年 大正9	熊本	7	0	0	0	0	7

年	震度 官署	1	2	3	4	5	合計
1921年 大正10	熊本	7	0	0	0	0	7
1922年 大正11	熊本	20	1	2	1	0	24
1923年 大正12	熊本	12	3	0	0	0	15
1924年 大正13	熊本	16	2	0	0	0	18
1925年 大正14	熊本	18	1	0	0	0	19
1926年 大正15	熊本	12	4	1	0	0	17
1927年 昭和2	熊本	10	1	2	0	0	13
1928年 昭和3	熊本	19	6	1	0	0	26
1929年 昭和4	熊本	28	12	2	0	0	42
1930年 昭和5	熊本	20	6	1	0	0	27
1931年 昭和6	熊本	26	5	5	0	0	36
1932年 昭和7	熊本	7	3	0	0	0	10
1933年 昭和8	熊本	26	12	2	0	0	40
	阿蘇山	98	32	24	7	0	161
1934年 昭和9	熊本	7	5	1	0	0	13
	阿蘇山	5	4	4	0	0	13
1935年 昭和10	熊本	9	3	1	0	0	13
	阿蘇山	8	3	0	0	0	11
1936年 昭和11	熊本	6	1	1	0	0	8
	阿蘇山	2	1	0	0	0	3
1937年 昭和12	熊本	21	13	3	3	0	40
	阿蘇山	8	7	1	0	0	16

年	震度		1	2	3	4	5	合計
	官署							
1938年	熊本		5	4	0	0	0	9
昭和13	阿蘇山		0	0	0	0	0	0
1939年	熊本		8	2	0	1	0	11
昭和14	阿蘇山		1	0	1	0	0	2
1940年	熊本		7	0	0	0	0	7
昭和15	阿蘇山		2	0	0	0	0	2
1941年	熊本		13	4	1	1	0	19
昭和16	阿蘇山		2	3	1	0	0	6
1942年	熊本		9	8	1	0	0	18
昭和17	阿蘇山		1	6	1	0	0	8
1943年	熊本		25	9	2	0	0	36
昭和18	阿蘇山		0	3	0	0	0	3
	人吉		4	6	0	0	0	10
1944年	熊本		13	4	1	0	0	18
昭和19	阿蘇山		5	12	0	0	0	17
	人吉		2	3	2	0	0	7
1945年	熊本		7	3	0	0	0	10
昭和20	阿蘇山		2	2	0	0	0	4
	人吉		0	0	0	0	0	0
1946年	熊本		13	12	5	1	0	31
昭和21	阿蘇山		8	2	2	1	0	13
	人吉		6	4	0	1	0	11
1947年	熊本		14	9	4	0	0	27
昭和22	阿蘇山		3	1	0	0	0	4
	人吉		7	4	0	0	0	11
1948年	熊本		4	10	2	1	0	17
昭和23	阿蘇山		2	3	0	0	0	5
	人吉		5	3	2	0	0	10
1949年	熊本		7	10	2	0	0	19
昭和24	阿蘇山		8	2	1	0	0	11
	人吉		5	3	0	0	0	8
1950年	熊本		3	6	1	0	0	10
昭和25	阿蘇山		3	2	0	0	0	5
	人吉		1	3	2	0	0	6
	牛深		0	0	0	0	0	0

年	震度		1	2	3	4	5	合計
	官署							
1951年	熊本		10	1	3	0	0	14
昭和26	阿蘇山		3	1	0	0	0	4
	人吉		0	1	1	0	0	2
	牛深		2	0	0	0	0	2
1952年	熊本		4	1	0	0	0	5
昭和27	阿蘇山		0	1	0	0	0	1
	人吉		3	0	0	0	0	3
	牛深		0	0	0	0	0	0
1953年	熊本		6	2	0	0	0	8
昭和28	阿蘇山		7	6	0	0	0	13
	人吉		4	1	0	0	0	5
	牛深		1	0	0	0	0	1
1954年	熊本		4	0	0	0	0	4
昭和29	阿蘇山		3	4	0	0	0	7
	人吉		2	0	0	0	0	2
	牛深		0	0	0	0	0	0
1955年	熊本		3	1	1	0	0	5
昭和30	阿蘇山		5	1	0	0	0	6
	人吉		0	0	0	0	0	0
	牛深		0	0	0	0	0	0
1956年	熊本		3	0	1	0	0	4
昭和31	阿蘇山		3	3	0	0	0	6
	人吉		4	1	0	0	0	5
	牛深		0	0	0	0	0	0
1957年	熊本		0	3	0	0	0	3
昭和32	阿蘇山		1	1	0	0	0	2
	人吉		1	2	0	0	0	3
	牛深		0	0	0	0	0	0
1958年	熊本		11	4	1	0	0	16
昭和33	阿蘇山		1	3	1	0	0	5
	人吉		4	3	0	0	0	7
	牛深		1	1	0	0	0	2
1959年	熊本		3	1	1	0	0	5
昭和34	阿蘇山		0	1	1	0	0	2
	人吉		1	2	0	0	0	3
	牛深		1	1	0	0	0	2

年	震度		1	2	3	4	5	合計
	官署							
1960年 昭和35	熊本		6	3	1	0	0	10
	阿蘇山		4	1	0	0	0	5
	人吉		4	2	2	0	0	8
	牛深		0	0	0	0	0	0
1961年 昭和36	熊本		13	3	3	0	0	19
	阿蘇山		5	3	0	1	0	9
	人吉		8	2	4	1	0	15
	牛深		2	1	0	0	0	3
1962年 昭和37	熊本		7	7	3	0	0	17
	阿蘇山		7	3	1	0	0	11
	人吉		13	2	0	0	0	15
	牛深		0	0	0	0	0	0
1963年 昭和38	熊本		6	7	3	0	0	16
	阿蘇山		5	4	1	0	0	10
	人吉		3	4	1	0	0	8
	牛深		0	0	0	0	0	0
1964年 昭和39	熊本		5	5	1	0	0	11
	阿蘇山		4	2	0	0	0	6
	人吉		2	1	0	0	0	3
	牛深		1	0	0	0	0	1
1965年 昭和40	熊本		5	2	3	0	0	10
	阿蘇山		1	4	0	0	0	5
	人吉		2	0	2	0	0	4
	牛深		4	1	0	0	0	5
1966年 昭和41	熊本		3	3	2	0	0	8
	阿蘇山		1	2	0	0	0	3
	人吉		1	0	1	0	0	2
	牛深		1	0	0	0	0	1
1967年 昭和42	熊本		6	6	0	0	0	12
	阿蘇山		2	2	0	0	0	4
	人吉		1	1	1	0	0	3
	牛深		1	2	0	0	0	3
1968年 昭和43	熊本		5	5	3	2	0	15
	阿蘇山		2	6	0	2	0	10
	人吉		82	50	12	4	2	150
	牛深		1	2	3	0	0	6

年	震度		1	2	3	4	5	合計
	官署							
1969年 昭和44	熊本		7	1	2	0	0	10
	阿蘇山		2	2	0	0	0	4
	人吉		0	2	4	0	0	6
	牛深		0	0	0	0	0	0
1970年 昭和45	熊本		8	3	1	1	0	13
	阿蘇山		2	3	1	1	0	7
	人吉		2	3	2	1	0	8
	牛深		0	0	0	0	0	0
1971年 昭和46	熊本		10	4	0	0	0	14
	阿蘇山		6	2	0	0	0	8
	人吉		2	3	3	0	0	8
	牛深		0	1	0	0	0	1
1972年 昭和47	熊本		2	4	1	0	0	7
	阿蘇山		1	3	0	0	0	4
	人吉		3	2	1	0	0	6
	牛深		0	0	0	0	0	0
1973年 昭和48	熊本		2	0	0	0	0	2
	阿蘇山		4	0	0	0	0	4
	人吉		1	0	0	0	0	1
	牛深		0	1	0	0	0	1
1974年 昭和49	熊本		7	4	1	0	0	12
	阿蘇山		2	1	0	0	0	3
	人吉		1	2	0	0	0	3
	牛深		1	0	0	0	0	1
1975年 昭和50	熊本		13	5	4	1	0	23
	阿蘇山		57	23	4	5	1	90
	人吉		5	4	0	0	0	9
	牛深		3	1	1	0	0	5
1976年 昭和51	熊本		2	3	3	1	0	9
	阿蘇山		6	2	0	0	0	8
	人吉		10	2	1	0	0	13
	牛深		5	5	0	0	0	10
1977年 昭和52	熊本		36	12	5	1	0	54
	阿蘇山		3	0	1	0	0	4
	人吉		3	2	1	0	0	6
	牛深		2	2	1	0	0	5

年	震度		1	2	3	4	5	合計
	官署							
1978年 昭和53	熊本		14	3	1	0	0	18
	阿蘇山		4	2	0	0	0	6
	人吉		3	3	2	0	0	8
	牛深		1	1	0	0	0	2
1979年 昭和54	熊本		4	3	2	0	0	9
	阿蘇山		2	3	0	0	0	5
	人吉		3	2	1	0	0	6
	牛深		1	1	1	0	0	3
1980年 昭和55	熊本		0	1	3	0	0	4
	阿蘇山		0	0	1	0	0	1
	人吉		0	0	0	1	0	1
	牛深		4	1	0	0	0	5
1981年 昭和56	熊本		5	0	0	1	0	6
	阿蘇山		1	0	0	0	0	1
	人吉		2	2	0	0	0	4
	牛深		3	1	0	1	0	5
1982年 昭和57	熊本		7	1	0	0	0	8
	阿蘇山		1	0	0	0	0	1
	人吉		2	1	1	0	0	4
	牛深		0	1	0	0	0	1
1983年 昭和58	熊本		7	2	2	0	0	11
	阿蘇山		8	0	1	0	0	9
	人吉		1	3	2	0	0	6
	牛深		4	0	1	0	0	5
1984年 昭和59	熊本		4	2	0	1	0	7
	阿蘇山		0	1	1	0	0	2
	人吉		9	3	1	0	0	13
	牛深		8	6	3	0	0	17
1985年 昭和60	熊本		1	1	1	0	0	3
	阿蘇山		2	2	0	0	0	4
	人吉		0	1	2	0	0	3
	牛深		2	2	1	0	0	5
1986年 昭和61	熊本		2	0	1	0	0	3
	阿蘇山		2	2	0	1	0	5
	人吉		0	1	0	0	0	1
	牛深		2	1	0	0	0	3

年	震度		1	2	3	4	5	合計
	官署							
1987年 昭和62	熊本		5	2	0	1	0	8
	阿蘇山		6	1	0	1	0	8
	人吉		2	3	1	1	0	7
	牛深		4	1	0	0	0	5
1988年 昭和63	熊本		3	1	1	0	0	5
	阿蘇山		1	1	0	0	0	2
	人吉		0	1	1	0	0	2
	牛深		4	0	1	0	0	5
1989年 平成元年	熊本		3	0	0	0	0	3
	阿蘇山		2	0	1	0	0	3
	人吉		1	0	0	0	0	1
	牛深		3	2	0	0	0	5
1990年 平成2	熊本		7	4	1	0	0	12
	阿蘇山		0	1	0	0	0	1
	人吉		0	2	1	0	0	3
	牛深		3	8	0	0	0	11
1991年 平成3	熊本		4	2	0	0	0	6
	阿蘇山		3	1	0	0	0	4
	人吉		2	1	0	0	0	3
	牛深		5	2	1	0	0	8
1992年 平成4	熊本		7	3	0	0	0	10
	阿蘇山		1	0	0	0	0	1
	人吉		2	1	0	0	0	3
	牛深		4	2	1	0	0	7
1993年 平成5	熊本		1	0	0	0	0	1
	阿蘇山		3	0	0	0	0	3
	人吉		6	1	0	0	0	7
	牛深		2	0	0	0	0	2
1994年 平成6	熊本		6	1	1	0	0	8
	阿蘇山		4	1	0	0	0	5
	人吉		9	3	5	1	0	18
	牛深		4	1	1	1	0	7
1995年 平成7	熊本		9	3	1	0	0	13
	阿蘇山		4	1	0	0	0	5
	人吉		12	2	0	0	0	14
	牛深		6	2	0	0	0	8

年	震度	1	2	3	4	5	合計
	官署						
1996年 平成8	熊本	10	6	1	1	0	18
	阿蘇山	6	0	2	0	0	8
	人吉	15	5	1	2	0	23
	牛深	2	1	0	0	0	3
1997年 平成9	熊本	16	4	5	1	0	26
	阿蘇山	11	2	1	0	0	14
	人吉	32	11	3	3	0	49
	牛深	26	11	2	1	0	40
1998年 平成10	熊本	7	4	0	0	0	11
	阿蘇山	11	1	0	0	0	12
	人吉	12	7	0	0	0	19
	牛深	7	5	0	0	0	12
1999年 平成11	熊本	11	5	2	0	0	18
	阿蘇山	12	2	1	0	0	15
	人吉	13	3	1	0	0	17
	牛深	6	2	0	0	0	8
2000年 平成12	熊本	14	12	1	1	0	28
	阿蘇山	13	1	1	0	0	15
	人吉	29	3	2	0	0	34
	牛深	5	2	0	0	0	7
2001年 平成13	熊本	8	2	1	0	0	11
	阿蘇山	6	1	2	0	0	9
	人吉	6	1	2	0	0	9
	牛深	0	0	0	0	0	0
2002年 平成14	熊本	7	3	1	0	0	11
	阿蘇山	6	1	0	0	0	7
	人吉	5	1	1	0	0	7
	牛深	3	1	0	0	0	4
2003年 平成15	熊本	16	5	0	0	0	21
	阿蘇山	5	0	0	0	0	5
	人吉	10	1	1	0	0	12
	牛深	2	0	1	0	0	3

人吉、牛深特別地域気象観測所を含む